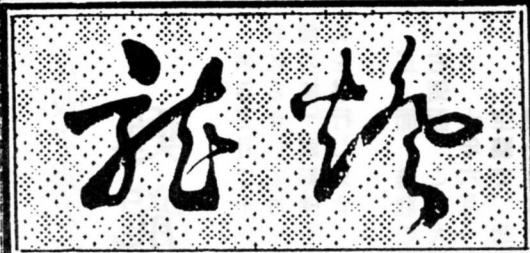


第32号

発行所 大阪市史跡 龍溪禅師墓所
 靈 龜 山 九 島 禅 院
 〒550-0022大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-6583-2725
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)



大阪にオリンピックを！ 九条に中華街を！ 二十一世紀まであと一年！

成田きんさん大往生

死に方にこだわるな！

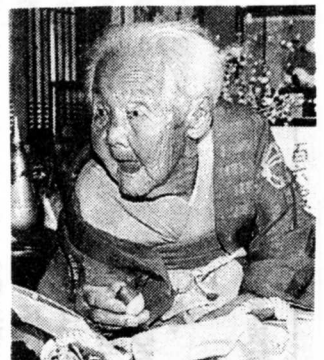
「きんは百歳、ぎんも百歳」のフレーズで日本をはじめ世界でも紹介され、「最年長アイドル」として人気者だった双子姉妹「きんさん、ぎんさん」の姉成田きんさんが、一月二十三日午前十一時三分に名古屋市の自宅で天寿をまっとうされました。長寿国日本の象徴として、昨年にはギネスブックにも「国の宝」として紹介され、その愛らしい姿と天真爛漫な性格は、超高齢社会への不安や不況など、ややもすると暗くなりがちな国民の気持ちを折にふれて和ませてくれました。

昨年八月の百七歳の誕生日に札幌市立札幌苗小学校を訪問したときには、子供たちに「何歳まで生きたいですか」と聞かれ、「百六歳まで生きようと思っただけなので、もういい」と答えて会場は爆笑に包まれました。死期を予感するようですが、ご家族によると、きんさんは数日前から風邪気味で、死亡当日午前八時半ごろ起床して仏壇に手を合わせながら、「食べたくない。

寝とる」と横になり、午前十時すぎに容体が急変し、主治医や家族の見守るなか、苦しむことなく安らかな大往生だったそうです。

お年寄りにとって、いかに死を迎えたらよいか？その心構えを知ることは、最大の関心事だと言えます。誰しも、安らかな死を願います。従容として死にたいと願望を持っています。でも、人それぞれで、なかなか自分の思うようにはいきません。仏教の開祖のお釈迦さまは、生老病死が「苦」だと教えられています。この場合の「苦」とは、苦と楽が相対的にあるような苦ではなく、絶対的な「苦」そのものです。どうしても楽に転ずることのない「苦」、それが生老病死の「苦」なのです。とすれば、死は絶対的な「苦」であるから、わたしたちがそれを迎える態度いかんによって、苦が軽減されたり、増量されたりはしません。どんな迎え方をしようか、それが「苦」であることには変わりはありません。

そうであれば、どんな迎え方をしたっていいのです。脊椎カリエスのため、三十歳になる前から死ぬまでほとんど病床にあった明治の俳人、正岡子規は、ある日その病床で忽然と気づいたそうです。



「余は今まで禅宗の所謂悟りと言ふ事を誤解していた。悟りと言ふ事は如何なる場合にも平気で死ぬる事かと思つて居たのは間違ひで、悟りといふ事は如何なる場合も平気で生きて居る事であつた」(病壯六寸)

どんな人間も、死ぬまでは生きています。その生をしっかりと生きる事が大事なのです。どうせ死は「苦」なのですから、どんな死に方をしたっていいのです。ありのままに死んでいい、あとは全部ほとけさまが面倒を見てくださる、ほとけの国に迎えてくださるのですから。それが仏教の信仰なのです。きんさんも安らかに、残された

大阪空襲の痕跡を伝える戦争遺跡

甕龍の楠 顕彰碑建立

来る三月二十三日、かねてお知らせしておりました「甕龍の楠」顕彰碑を建立、除幕式を挙行します。

正面 甕龍の楠
右側面 この大楠は昭和二十年六月一日の大阪大空襲で、劫火に一身を焼かれながらも甕ったもので、再び災害の無きよう祈願し水定示寂された龍溪禪師のご遺徳に因み甕龍の楠と命名し空襲の痕跡を後世に伝え再び戦争の惨禍が無きよう祈念する

左側面 題九島院大楠樹
大樹亭然浄境中
悠悠屹立占天空
無言無語古今佛
一切東西南北風



大阪にオリピックを！

九条に中華街を！

二十一世紀まであと一年！

裏面 鳴鳴吟社 森崎蘭外
惟時平成十二年三月二十三日 開山龍溪
禪師御水定參百參拾年
遠忌記念

命名 版画家 清田雄司
揮毫 書家 高園柏邨
当院 二十五代啓知證建之

と銘記されています。

大きさ 高さ 一一三センチ、一八センチ角
石材 岡山県産万成石
施工 小寺石材株式会社
同日は当院恒例の春の彼岸法要の後、命名者 清田雄司画伯の講演を予定しております画伯は奈良県内の大樹もモチーフに木版画の大作を数多く発表されています。「大樹との出会いを通じて」経験談を話していただきます。

献龍（龍を献じます）甘露堂 文照 拜（黄檗宗管長）

今年（西暦二〇〇〇年）即ち二十一世紀の幕開けの辰であり龍に通じる年です。龍を字源で引いてみますと「たつ」は想像上の神靈なる動物で鳳・麟・龜と合わせて四霊という。よく雲を起し雨を呼ぶ、その鱗のあるを蚣龍、翼のあるを應龍、角のあるを虬龍、角なきを螭龍、未だ天に昇らざるを蟠龍といふ。漢和辞典では「天子」または天子に関する物事につける大きい恵み、たまもの、例えば龍眼・龍顏・龍神・龍飛・龍駕等と限りがありません。（中略）

吾が宗祖隠元禪師が日本に渡られし時、まず第一にその法化を扶けられたのが龍溪禪師でした。その龍が奇しくも今年の干支です。龍溪禪師は、その地位や名声を投げ捨てられて隠元禪師の一介の弟子となり先ず高槻の普門寺を提供され御自身自ら東奔西走、幕府をして現在の黄檗山萬福寺建立の基礎を造られました。それ迄の隠元禪師は中国の僧俗に対して「三ヶ年日本に滞在したら帰国する」と

約して出発したのです。その三ヶ年が経ち迎えの使者が黄檗から日本に来、長逗留して無理をしても隠元禪師を中国へ連れて帰ろうとしたその時に、幕府の一寺建立の許可が下り具体化の一步が開かれ隠元禪師をして前言翻し骨を日本に埋める決意をなされた時でした。つまり龍溪禪師は正師隠元禪師に対し龍駕に徹せられた一生涯でありました。又当時の黄檗そのものも龍溪の名の通りの道を歩みました。

（後略）

黄檗宗報（三訂）より抜粋

檀信徒の皆さまへ

○遠忌記念事業進捗状況

龍溪禪師御水定参百参拾年遠忌法要(六月十一日)が近づいてまいりました。萬松派(龍溪禪師が開かれた寺院)の各寺院でも、記念の事業が計画されています。

当院本寺、高槻の慶瑞寺で

昨年十一月二十三日より二泊三日で黄檗宗第九次訪中団に参加しました。今回は、宗祖隠元禪師の師匠、費隠禪師の石塔の開眼および費隠亭落成慶讃法要を目的に、団員総勢六十名、松本普成老師を名誉団長に、煎茶連盟からは愛茗流家元はじめ門弟の方々、宗内寺院方が多数参加されました。

当院で計画している「龍溪禪師慶讃ビデオ」撮影を兼ねて、製作していただく中瀬古秀次郎氏も同行されました。法要の二十四日は晴天に恵まれ、爆竹の大音響のなか、総門前に一同列班し、中国僧侶居士方に引続き、天王殿、

ミレニアムの平成十二年は「開山龍溪禪師御水定三百三十年です！」

は、客殿が二億円の予算で建築中。三月十五日には落慶法要が挙行されます。塔頭の萬松院では、本堂再建工事が進み、五月二十三日に開山忌と併せ落慶法要が。滋賀県土山の地安寺でも遠忌と後水尾法皇参百式拾年聖忌、先代住職で五十六代管長禪梁猊下十七回忌法要と授戒法要が十月二

大雄宝殿、隠元記念堂で、悲昇万福寺住職と名譽団長の三拜。隠元堂外左奥に整備された費隠塔の開眼法要が、愛茗流一門の献花、献茶作法に引き続き、老師団長導師のもと厳粛に執り行われました。その後、大雄宝殿隣に新築され

第九次訪中団報告

費隠亭落慶法要

た費隠亭で、祖山復興募財寄付の日本黄檗宗寺院名単の石塔のテープカットがありました。九島院の名前も刻まれており、龍溪禪師もさぞ喜ばれている事だと存じます。中国の経済発展はすざましく、今回で三回目の訪中です

十二日に計画されています。当院の記念事業については御開山龍溪禪師と禪宗始祖達磨大師のご尊像、遺囑碑は完成済で、語録は原稿校正中で顕彰ビデオと歴代住職のお位牌は製作中です。また萬松院再建資金として、当院分担分の五百万円は献納しました。現在、二百三十二名の方より、累計壹仟百七萬伍仟円の浄財が集まっています。春彼岸で締め切ります。ご寄付の程宜しく願います。

が、祖山のある福建省福清市から日本との直行便のあるアモイまで、高速道路が整備され、四時間たらずで到着しました。車窓からみた人家もモダンな建物が多く建ち、その変貌ぶりに目を見張りました

お授戒の勧め

十月三十一日より十一月五日まで、京都宇治の大本山萬福寺で「仏祖報恩二千年大授戒会」が啓建されます。吾黄檗宗では、管長在任中(任期七年)に最低一回は授戒法要を執り行う伝統があります。授戒禪が特徴でもあります。滅多にない機会ですので、是非ご参加されることをお勧めします。小柄も加担します。尚、お授戒には次のものがあります。



- ◇本 戒 十一月二日より五日まで三泊四日 十万円(百名募集)
 - ◇一日戒 十月三十一日より十一月四日まで毎日 五万円(二百名募集)
 - ◇半一日戒 十月三十一日より十一月四日まで毎日 十一万円(四百名募集)
 - ・ 午前の部 午前九時受付
 - ・ 午後の部 正午受付
 - 三万円(四百名募集)
 - ◇追善戒 亡き靈に戒名を贈る 三万円(百霊募集)
 - ◇亡者戒 亡き靈の追善供養 一万円(千霊募集)
- お戒名は道号と戒名の四字で院号や位号はつきませんでご了解下さい。

おな どし

● 親と子供は同い年

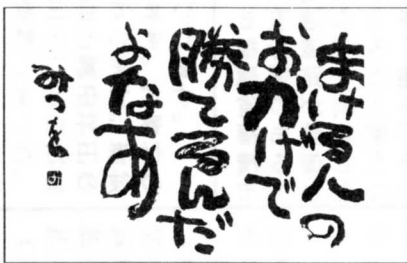
「親と子供は同い年」。漫才作家秋田實氏の娘さんで、童話作家の藤田富美江女史の言葉です。嫁に行き、母親となり、子育てにきゅうきゅうとしていた娘にむかって、父秋田實氏が言ったそうです。

子供にむかって、「・・・してはだめ」「・・・しなさい」を連呼し、鬼のような顔をした娘にむかって「もっと、肩の力をぬきなさい」「お前も、子供を産んで初めて親となったのだから、親となった期間には子供と同じだろう。同い年の子供に向かっては、そんな口のききかたはできないはずだよ」とたしなめられたそうです。

相田みつをの詩に「まける人のおかげで、勝てるんだよなあ」という詩があります。○社員のおかげで社長になれるんです。○後輩のおかげで先輩になれるんです。○生徒のおかげで先生になれるんです。○どんな試験でも、落ちてくれる人のおかげで受かるんです。○買い手があるから売れるんです。○売り手があるから買えるんです。私の、このヘタな文字、つたない文章も見てくれる人のおかげで書かせていただけるんです。おかげさんでないものはこの世に一つもありません。みんな「おかげさん」で成り立っているんです。- というコメントがのっています。

女史は、お父君の助言で「子育てのこつ」が判ったそうです。自分は親だという気持ちが先走りして子供から学ぶことに目がいかなかった。子供のおかげで親にして貰ったのだから、子供と同じ視点で見つめた時、教わる事の多いことに驚いたそうです。

大阪青少年教化協議会主催「心の力を養う講座」(昨十一月五日)での女史の講演で感動した話です。



「ミレニアムの平成十二年は」開山龍溪禪師御水定三百年です！

話せば心も軽くなる
大阪仏教テレホン相談室

仏事相談、信仰相談、その他 あらゆる人生相談を、十宗派の僧侶がお受けします

電話 06-6245-5110

月曜日～金曜日 午後2時～5時

平成12年度 (8月は休み)
(1月11日～12月22日)

月曜日	日蓮宗		
火曜日	浄土宗	融通念仏宗	
水曜日	浄土真宗本願寺派	真宗大谷派	
木曜日	天台宗	真言宗	
金曜日	臨済宗	曹洞宗	黄檗宗



編集後記

▼本紙の標語「二十一世紀入る平成十二年・・・」は誤ってしまいました。高校で歴史の教鞭をとっていた者として恥ずかしい限りです。

▼「ミレニアム(千年紀)」だそうでイエス・キリストの誕生を起点とする西暦での呼び名だそうです。

▼仏教国では、紀元前五四三年にお釈迦さまが亡くなった「仏滅紀元」とし今年が仏曆二五四三年です。我が国の

「皇紀」では二六六〇年に当たります▼仏教者としては「ミレニアム」にとらわれるのは噴飯ものでしょうが、なにしろ多神教のお国柄、口に角を立てることもないでしょう。「ひとつの区切りの感覚」ととらえプラス思考したいものです。

▼本年八月二十三日は、当院にとって歴史の記念日です。開山示寂百参拾年の節目の年ですので、「ひとつの区切り」として、新たな発展を願い精進していく決意です。今まで以上のご支援をお願いします！

ご案内

山門会・お彼岸法要

3月23日(木)
午後1時半より

※ご先祖供養です。宗旨に関係ありませんご回向お申し込み下さい。

講演・版画家 清田清司
「甕龍の桶」記念碑テブカット